

明るい選挙 県本部設置



看板を設置する奥井隆委員長
⑤と中村保之会長＝県庁で

県選管と県明るい選挙推進協議会は十七日、「統一地方選挙明るい選挙推進県本部」を設

統一地方選
2011

議会の中村保之会長が、県庁六階の県選管の出入り口に看板を掛けた。本部の活動としては、啓発活動として明るい選挙推進青年活動隊「CEPT」のメンバーらが、ショッピングセンターなどでの街

置した。一九七五（昭和五十一年）から統一地方選のたびに設置しており、この日は、県選管の奥井隆委員長と同協

選挙ルール啓発「相談所」を開設
福井 県選管
今春の統一地方選に備え、県選管は7日、県庁6階に「選挙よるす相談

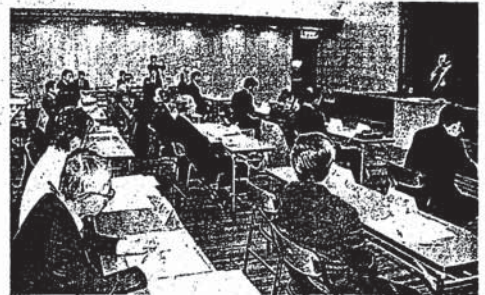
所」を開設した。有権者や候補者、運動員らの問い合わせに応じ、明るい選挙の推進に向け正しいルールの啓発に努める。県選管の奥井隆委員長が同日、部屋のドアにプレートを掲げ、開設した。職員4人が常駐し、電話や面談での相談を受ける。県議選の定数が3減の37人、選挙区が3減の12となる変更点などの周知に力を入れる。

統一地方選は3月24日の知事選告示でスタート。相談所は数値、あわら市市長選と6市町議選の投票が行われる4月24日まで設ける。受け付けは平日の午前8時半から午後5時15分まで（正午から午後1時を除く）。また、県選管は告示日や投票日、期日前投票の日程などをまとめた臨時ホームページ（HP）を



統一地方選を前に選挙よるす相談所のプレートを掲げる奥井県選管委員長＝7日、県庁

統一地方選を前に開かれた県と県内17市町の選管の合同会議＝18日、県庁



区割り変更 周知を

県、市町選管が合同会議

今春の統一地方選に向け、県と県内17市町の選管は18日、県庁で委員長、書記長、担当者の合同会議を開き、変更される県議選の区割りの周知や迅速・正確な開票作業に努めることを確認した。約60人が出席。県選管事務局の上田広輝書記長が「開票リハールサルや開票所のレイアウト見直し

などを行い、正確性はもとより迅速化にも積極的に取り組んでほしい」と呼び掛けた。

事務局が事務日程や投票用紙の配布計画、速報体制などを説明。県議選の区割り変更に関しては、選挙区が拡大する越前市・今立郡・南条郡区と小浜市・三方郡・三方上中郡区を担当する選管に特に周知、啓発活動を徹底するよう求めた。

事前運動取締本部
県警と12署に設置
統一地方選を控え、県警は23日、捜査2課と全12署に「第17回統一地方選挙事前運動取締本部」を設置した。



統一地方選の事前運動取締本部の看板に掲げる県警捜査2課の捜査員＝23日、福井市の県警本部

22日までに、規格外のポスター掲示や投票依頼をにおわす文書の配布など、知事選4件、県議選6件、市長選2件、市町議選2件の計14件に警告を出している。

前回の統一選では文書掲示違反などで知事選11件、県議選51件、市長選4件、市町議選23件の計89件で警告を出した。

投票用紙など梱包

知事選、県議選用 作業始める

県選管

など各種証明書や関連書類など約14万枚を、

3日間かけて市町ごとに梱包する。この日は県選管職員10人が県庁地下1階の正庁で、投票用紙の枚数や印刷ミスがないか入念に確認し、必要な枚数を市町ごとに段ボール箱に詰めていった。7日にトラックで各市町に向けて発送する。

【安藤大介】

11統一 地方選

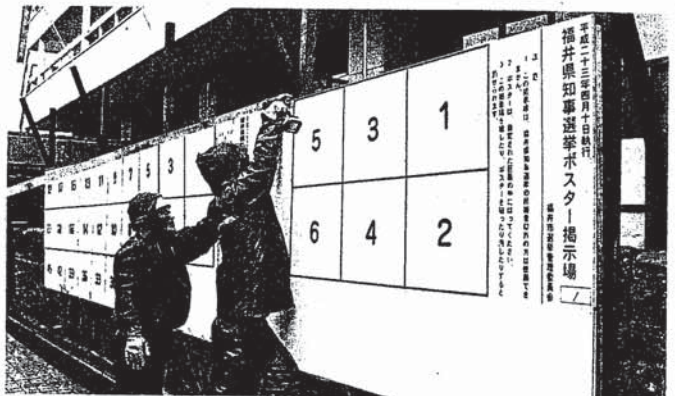
県選挙管理委員会では2日、統一地方選で実施される知事選と県議選（4月10日投票）の投票用紙や関連書類などを市町選管に送るための梱包作業を始めた。



投票用紙の枚数を慎重に数える県選管の職員たち＝県庁で

福井市と敦賀市選管

統一選
2011



統一地方選を前に始まった知事選などのポスター掲示場の設置作業＝福井市役所前

掲示板の設置開始

4月の統一地方選を前、選挙管理委員会は28日、知事に、福井市と敦賀市の両選選と県議選（いずれも4月

この日、福井市役所前では、委託業者の作業員4人が、雨のなか、木の枠を立てて掲示板を取り付けた。

知事選と県議選終了後に知事選などの掲示板を取り外し、市議選の掲示板に切り替える。

敦賀市の掲示板は、市長選6人分、市議選36人分の上に、知事選6人分、県議選敦賀市選挙区8人分の掲示板を重ねて取り付けられている。

知事選説明会 2陣営出席

知事選の立候補予定者説明会が3日、県庁で開かれ、立候補を表明している現職の西川一誠氏（無所属）自民、公明推薦、民主推薦の方針）と、新人の宇野邦弘氏（共産党公認）の陣営の関係者のほか、坂井市内の男性も出席し、取材に「立候補するかどうかは、判断していない」と話した。

県選管は「明るくきれいな選挙と円滑な選挙事務運営に協力を」などあいさつ。選挙の事務的な手続きや注意、選挙郵便物の取り扱いなどを説明した。

投票用紙など発送

知事選・県議選 17市町の選管に



知事選や県議選の投票用紙などが入った段ボール箱をトラックに積み込む県選管の職員たち＝県庁前で

関連書類などを、県内 17市町の選管に7日発送したの点字や

船員用を含めた投票用紙約138万枚と、各種証明書や関連書類など約14万枚が入った段ボール箱114箱分。県選管の職員20人がトラックに積み込んだ。

続いて県庁前で出発式があり、県選管の上田広輝書記長が「大切なもので、事故のないよう確実に届けてほしい」と訓示。職員はトラック3台に乗り込み、次々に出発した。

【安藤大介】

立候補予定者 説明会始まる

県議選

統一地方選で実施される県議選（4月1日告示）の立候補予定者説明会が8日から始まった。この日は県内12選挙区（定数37）のうち6選挙区の説明会が県庁であり、27陣営が出席した。

選挙区ごとの陣営数は福井市15（同12）、大野市2（同2）、勝山市2（同1）、あわら市1（同1）、坂井市6（同4）、吉田郡1（同1）。説明会に参加せず資料を持ち帰った大野市選挙区の陣営が一つあった。鯖江市、越前市・今立郡・南条郡、丹生郡の3選挙区の説明会は10日、越前市福祉健康センターで。敦賀市、小浜市・三方郡・三方上中郡、大飯郡の3選挙区の説明会は11日、小浜土木事務所で開催される。（日比真）

県警が取締本部



取締本部の看板を掲げる捜査員＝県警本部で

統一地方選を前に県選挙違反取締本部を警は9日、県警本部の捜査二課と県内十二署本部長が取締本部長となり、捜査員千二百人体制で監視の目を光らせる。

県警本部では午前九時、捜査二課の入り口前に「選挙違反取締本部」の看板が掲げられた。県警によると、八日現在の警告件数は二十三件。そのうち、規格外のポスターの掲示など文書掲示違反が二十一件を占めている。四年前の統一地方選では、本部設置前日までの警告件数は二十二件だった。県警は「悪質だ」（清兼千鶴）

市選管の担当者が立候補の届け出に必要な書類などを手渡し、手続きの流れや選挙運動の注意などについて説明。陣営関係者らは、書類を確認しながら熱心に耳を傾けていた。

な違反は、投票日前でも摘発する」としている。（平林靖博）

41陣営が出席

福井市議選の

予定者説明会

四月十七日告示、二十四日に投票される

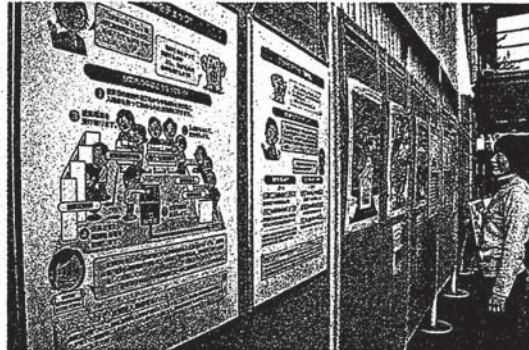
福井市議選の立候補予定者説明会が九日、同市のフェニックス・プラザであり、四十一陣営の関係者が出席した。

統一地方選
2011

選挙のシステム紹介

県庁で
パネル展 受け付けから投票まで

統一地方選を控え、選挙のシステムなどを



選挙の仕組みなどを紹介するパネル展＝県庁で

紹介するパネル展が十四日、県庁で始まった。十八日まで。投票所内での受け付けから投票までの動きなどを、絵入りのパネルで説明。昨秋実施した明るい選挙啓発ポスターコンクール

の金賞作品三点も掲示している。過去の知事選や県議選の投票率の推移を示す表のほか、政治家による見舞いや運動会への差し入れなどが公選法で禁止されていることなどの豆知識も紹介している。県選管の同展担当者は「まずは選挙を周知してほしい。選挙は決して難しいものではない」と積極的な投票参加を呼び掛けている。(平林靖博)

過去の知事選や県議選の投票率の推移を示す表のほか、政治家による見舞いや

若者投票率アップ目指せ

SCで街頭啓発へ「CEPT」

24日に知事選の告示を迎える統一地方選に向け、大学生らでつくる県明の選挙推進青年活動隊「CEPT」は16日、ショッピングセンターエレファントの選挙民も加わり、投票日を記したチラシや軍手などの啓発グッズを買い物客らに配布する。

若者の投票率アップに向けた啓発活動を話し合うCEPTのメンバー＝16日、県庁



このほか、25日に行われる県立大の卒業式に合わせ、同大キャンパスでも啓発活動する。テレビ番組やCM出演を通じて投票の呼び掛けも行う。県庁で16日に開かれた企画会議には大学生や社会人のメンバー5人が出席した。県選管は「同年代からの呼び掛けで、若者の選挙への関心を高めたい」としている。

届け出受け付け手順確認

県選管 告示前にリハーサル

二人の職員を立候補者 番と同じ流れで届け出の代理人と想定し、本の受け付け順を決める

抽選や提出書類の確認などを行った。
選挙事務所の標札や運動員用の腕章などの「七つ道具」、各種関係書類などもスムーズに受け渡しができるよう

準備し、説明をしなから代理人に手渡ししていた。(笠松俊秀)
職務代理者置かず
西川知事
西川一誠知事は、二

知事選

知事選の告示を前に県選管は二十二日、立候補届け出受け付けのリハーサルを県庁で実施した。職員たちは真剣な表情で手順などを確認し、本番に備えた。県選管職員十八人が二十四日の告示日と同じ配置でスタンバイ。



選挙の七つ道具の受け渡しなどを確認したりリハーサル＝県庁で(河野光吉撮影)

選挙人名簿登録者数

[3月23日現在]
県選管発表

	男	女	総数
福井市	102,672	112,696	215,368
井浜市	26,699	28,118	54,817
小浜市	12,310	13,250	25,560
大野市	14,411	16,140	30,551
勝山市	10,308	11,403	21,711
鯖江市	25,821	28,062	53,883
あわら市	11,690	13,346	25,036
越前市	32,175	34,364	66,539
越前市	35,509	38,726	74,235
市計	271,595	296,105	567,700
永平寺町	7,561	8,373	15,934
池田町	1,339	1,463	2,802
南越前町	4,592	5,150	9,742
越前町	9,396	10,287	19,683
美浜町	4,366	4,657	9,023
高浜町	4,414	4,525	8,939
高浜町	3,427	3,627	7,054
若狭町	6,330	6,931	13,261
県計	313,020	341,118	654,138

県内選挙人名簿登録者65万4138人
知事選に伴い、県選管は二十三日現在の選挙人名簿登録者数を発表した。総数は六十五万四千三百三十八人で、二〇〇七年の前回選挙時と比べ、四千六百四十一人少ない。内訳は男性三十一万三千二百一十八人、女性三十一万一千一百二十人。市町で最も多いのは福井市の二十二万五千三百六十八人、最少は池田町の二千八百一人。知事選で、登録者数に依りて算定される候補者一人当たりの選挙運動費用の支出制限額は二千八百七十七万九千円となった。(平井一敏)

投票呼び掛け啓発塔

福井市役所前に設置

福井市役所前に二十三日、統一地方選での投票などと呼び掛ける木製の啓発塔が設置された。高さ六メートルの塔には、知事選と県議選の投票日は「4月10日」、福井市議選は「4月24日」とそれぞれ書かれている。また、県選管は、最上段には、明るい選挙推進協会のマスコットキャラクター「めいすいくん」が描かれている。親しみを持たせている。(藤共生)



福井市役所前に設置された選挙啓発塔＝福井市大手3丁目

県庁正庁で受け付け



立候補の届け出を終え、七つ道具を確認する代理人（左から2人目）＝県庁で

知事選の立候補受け付けが二十四日、県庁正庁で行われ、出馬を表明していた宇野邦弘、西川一誠（届け出順）の両氏が予定通り立候補を届け出た。

会場には、受け付け開始の午前八時三十分前に両陣営の代理人らが到着し、受け付け順を決めるための予備抽選に続いて本抽選に臨んだ。

代理人らは、受け付け順に必要な書類を県選挙管理委員会の職員に提出。書類に不備がないかの確認を受け、届けが正式に受理されると、選挙事務所の標札や運動員の腕章など、選挙の「七つ道具」を受け取り、それぞれの事務所へと足早に向かった。

（藤共生）

主張を見極め一票を

県選管委員長談話

県選管の奥井隆委員長は二十四日、知事選の告示に当たり次のような談話を発表した。

選挙は民主主義の基盤をなすものであり、とりわけ地方選は身近な政治に対して住民が意見を表明する最大の機会であり、その中でも知事選は県民の皆さまが今後の四年間の県政を託す知事を選ぶ重要な選挙です。有権者の皆さまにおかれましては、県民生活と密接に関わる今回の選挙の意義を十分に認識されたいと、県政を担う自分たちの代表を選ぶという自覚と責任を持ち、候補者の主義、主張を十分に見極めた上で、貴重な一票を投じられるよう切望します。

3月25日 福井新聞

30日から政見放送

県選管は24日、知事選

の立候補者2人の政見放送の日程を決めた。30日のNHK総合のテレビ放送を皮切りに4月7日まで行われる。放送日時は次の通り。

【テレビ】▽30日 NHK総合▽午後11時10分▽1日 福井放送▽午前10時20分▽2日 福井テレビ▽午後3時38分▽7日 NHK総合▽午前7時半
【ラジオ】▽1日 NHK第1▽午前7時20分▽3日 福井放送▽午後0時45分▽6日 NHK第1▽午後9時半

3月26日 中日新聞

期日前投票始まる

39カ所 知事選

知事選の期日前投票が二十五日、県内市町の庁舎や公民館など三十九カ所が始まった。

各投票所とも、四月九日までの毎日午前八時半から午後八時まで開設される。

期日前投票は、四月十日の投票日当日に仕事や旅行などで指定の投票所に行けない有権者のための制度。各投票所で「宣誓書」に期日前投票する理由を書いて提出すれば、その場で投票できる。

福井市役所別館五階の投票所では、初日から断続的に市民らが訪れ、一票を投じた。越前市今立総合支所では県議選告示後の四月二

日から期日前投票を受け付ける。

県選管によると、二〇〇七年の前回知事選の期日前投票者数は四万六千六十八人で、全投票者数の11・8%だった。（平井一敏）



「一日選挙管理委員」の木ノ本さん(左から2人目)と宇野さん(左)

きれいな選挙を
一日委員が要請

知事選2陣営に

知事選で明るくきれいな選挙を推進しようと県選管は25日、若い女性2人を「一日選挙管理委員」に委嘱した。2人は宇野邦弘氏、西川一誠氏の両陣営を訪れ、選挙ルール

の順守を呼び掛けた。委嘱されたのは、県立大2年の宇野美希さん(20)と坂井市2と看護師の木ノ本ゆかりさん(23)と。坂井市、県庁で県選管の奥井隆委員長から委嘱状を受け取った後、両候

県立大卒業生に
投票を呼び掛け

推進青年活動隊

県内の学生や若手社会人でつくる「県明るい選挙推進青年活動隊(CEPT)」は25日、統一地方選挙で若者の投票率アップを図ろうと、学位授与式があった永平寺町の県立大福井キャンパスで投票を呼び掛ける啓発を行った。CEPTのメンバーは15人で平均22歳。この日卒業を迎える学生に統一地方選挙をアピールしようと企画した。

代表で福井大4年の廣部舞さん(23)と坂井市坂井町14人、マスコットキャラクター「めいすいくん」が参加。式を終えた晴れ着姿の卒業生らに「投票お願いします」と呼び掛け、投票



3月27日 朝日新聞

投票の立会人を務める「CEPT」の広部舞さん(右)と高田明日香さん=坂井市坂井町下新庄



若者よ 投票に行こう

大学生ら、立会人に

若い世代に選挙に対する関心を高めてもらうと、若者の選挙啓発ボランティアグループ「県明るい選挙推進青年活動隊CEPT」のメンバー2人が26日、坂井市坂井町下新庄の市多目的研修集会施設で、知事選の期日前投票の立会人を務めた。

立会人を委嘱された2人はいずれも坂井市在住で、大学生の広部舞さん(23)と会社員の高田明日香さん(23)。「CEPT」は2005年に発足し、現在は平均年齢22歳の大

3月27日 中日新聞

期日前投票
初日は93人

知事選

県選管は26日、知事選の期日前投票初日だった二十五日に県内十七市中、九市五十三十四人で、坂井市と

町で計九十三人が投票したと発表した。二〇〇七年にあった前回知事選の初日より五人少なかった。県選管によると、最も多いのは、福井市の開票は四月十日。(原田晃成)

(小池寛木)



県選管の職員らによってトラックに積み込まれる選挙公報（県庁で）

選挙公報を発送

県選管

県選挙管理委員会は28日、4月10日投開票の知事

選と県議選に向けて、知事選候補者の公約などが書かれた選挙公報を17市町の選管に発送した。同8日までに県内の各世帯に届

けられる。

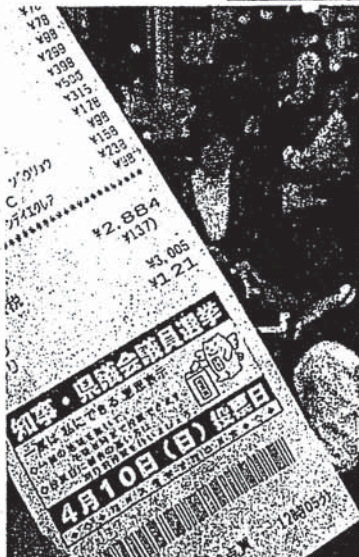
公報は、新聞と同じサイズで、共産新人の宇野邦弘候補(59)と無所属現職の西川一誠候補(66)のマニフェストや経歴紹介、県議選の各選挙区の定数と投票時間などが盛り込まれている。

この日、啓発用チラシや公報30万2000部などを積み込んだトラック4台が県庁を出発した。市町の各選管に到着後、各区長や郵便局などを通じて全戸配布される。

レシートで投票啓発

知事選、県議選 県内52店協力

知事選、県議選の10日投開票に向け、県選管は県内スーパー、量販店の協力により買い物レシートに投票を呼び掛けるメッセージを印字する取り組みを始めている。レ



知事選、県議選の投票を呼び掛けるメッセージが印刷されたレシート＝29日、福井市のアピタ福井大和田店

次行っている。

井大和田店など4店舗

幅広い有権者に投票を呼び掛けるためのアイゴには、明るい選挙のアイデアで、レシートの余白イメージキャラクターの部分に投票日や期日前「めいすいくんや、」投票の呼び掛けなどを印刷。福井市のアピタ福

井大和田店など4店舗。コメリ(20店)、PLANT(8店)、JAF福井市(6店)、県民生協(6店)などが、知事選告示の24日から県議選告示の4月1日にかけて、取

り組みを順次スタート。県選管は「レシートは幅広い世代が手にするし目に入ってきてやすい。少しでも投票への意識が高まれば」としている。

総数は65万3944人 選挙人名簿登録者数

県議選に伴い、県選管は31日現在の選挙人名簿登録者数を発表。総数は65万3944人。補選一人当たりの選挙運動費用の支出制限額で、二〇〇七年の前回は五百十六万一千五百九十八円と比べ四万五千七百円となった。(平井一敏)

内訳は男性三十二万二千九百二十六人、女性三十四万一千八百十八人。選挙区別で最も多いのは福井市の二十一万五千二百九十七人、最少

県議選選挙人名簿登録者数と法定選挙費用			
選挙区	登録者数(人)	法定費用(円)	
福井市	215,297	5,389,200	
敦賀市	54,821	5,416,800	
小浜市	47,821	5,223,100	
三方市	30,538	5,167,400	
大野市	21,706	5,701,600	
勝山町	53,870	5,390,500	
鯖江市	25,027	5,977,300	
あわら市	79,051	5,212,300	
越前市	74,216	5,440,000	
坂井市	15,926	5,221,900	
吉田町	19,678	5,533,300	
丹波町	15,993	5,227,500	
計	653,944		

(注) 登録者数は3月31日現在

統一選

2011

きょう告示

県議選 準備OK

届け出受け付け手順確認

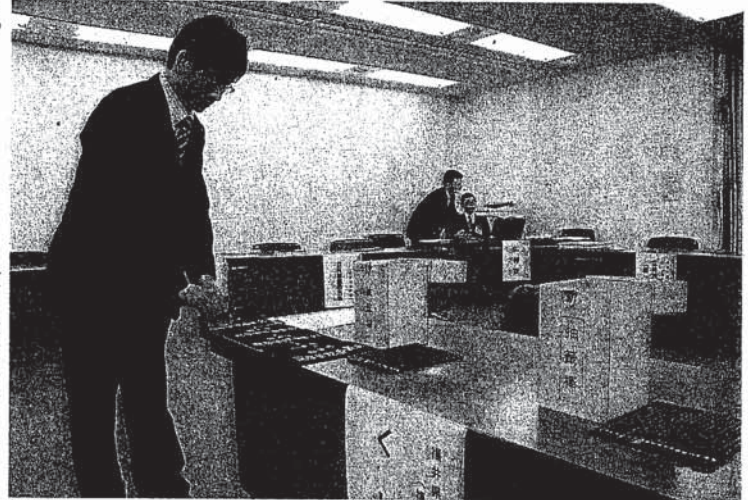
県議選（定数37）は一日に告示される。12選挙区から51人が立候補の準備を進めており、3選挙区で無投票の公算が大きい。31日、立候補の届け出を受け付ける各選挙区の会場では、担当者が作業手順の最終確認に追われた。受け付けは午前8時30分から午後5時まで。

で。投票票は知事選と同じ4月10日に行われる。

立候補予定は現職36人と元議員2人、新人13人。党派別の内訳は民主7人、自民25人、公明1人、共産2人。無所属は16人。12選挙区のうち、大野市、あわら市、吉田郡の3選挙区は無投票の可能性が高く、9選挙区で選挙戦になる見通し。

この日、福井市選挙区の受け付け会場である福井市田原のフェニックス・プラザでは、同市職員がリハール。候補者にふんした職員に担当者が届け出順を決めるくじ引きや選挙の注意点を説明。選挙カーに置く立て札や街頭演説の際に候補者が身につける腕章など、選挙の「七つ道具」一式がそろっているかどうかを入念に確認していた。

告示日当日の各選挙区の受け付け場所は以下の通り。



福井市選挙区の立候補届け出の受け付け準備を進める市職員（福井市田原、フェニックス・プラザで）

▽福井市 フェニックス・プラザ（福井市田原）▽敦賀市 同市役所▽小浜市・三方郡・三方上中郡 同市役所▽大野市 市文化会館（大野市有明町）▽勝山市 同市役所▽鯖江市 同市役所▽あわら市 同市役所▽越前市・今立郡・南条郡 市生涯学習センター（越前市府中）▽坂井市 市多目的研修集会施設（坂井市坂井町下新庄）▽吉田郡 永平寺町役場▽丹生郡 朝日農村環境改善センター（越前町内郡）▽大飯郡 県若狭合同庁舎（小浜市遠敷）

4月5日 福井新聞

正確で迅速な
開票速報確認

県市町選管

10日の知事選、県議選の投票速報を前に県選管は



知事選、県議選の迅速な開票速報などを確認した打ち合わせ会議。4日、県庁

4日、市町選管の担当者らと開票速報打ち合わせ会議を県庁で開いた。正確で迅速な開票速報と速報の手順を確認した。17市町の担当者29人が参加。県選管の上田広輝書記長が「開票事務の正確性、迅速化に努め、選挙区変更などにも十分注

意してほしい」とあいさつした。

県選管は10日午後9時半から開票速報を始め、同10時半までは30分おき、それ以降は20分おきに発表する。市町担当者には発表10分前にフックスで報告するよう徹底を呼び掛けた。このほか、開票所の管理運営、疑問票の取り扱いなどを確認した。

8日には各市町と開票速報のリハールを行い、本番に備える。

「期日前」前回比1500人増加

知事選10日間で

県選管は4日、知事選の期日前投票について3日までの投票状況を発表した。10日間で7811人が投票し、2007年の前回知事選を同期比で1518人上回った。3月29日までの前回集計分は724人。30、4月3日の5日間に新たに7087人が投票した。県議選の受け付けが始まった2日から一気に伸び、2日間で計6643人と集中している。

5日間で最も多かった市町は福井市で2715人。坂井市752人、越前市452人と続く一方、敦賀市が144人と市で最も少ない。町では若狭町435人、越前町348人と県議選の激戦区が目立つ。

期日前投票は投票前日の9日まで40カ所で実施。午前8時半から午後8時まで受け付けている。次回集計の4、8日は9日に発表される。

「若い人もぜひ投票を」

「めいすいくん」も呼び掛け

県内8市町

県議選(10日投票)がスタートして迎えた週末の2日、県選挙管理委員会は県内8市町のスーパーなど17カ所で街頭啓発に取り組み、特に投票率が低い

11統一 地方選

若者らに統一地方選への投票を呼び掛けた。福井市大和田町のショッピングセンター「フェアモール福井」では、県や同市選挙職員のほか、プロ野球BCリーグ「福井ミラクルエレファント」の選手、県立大チアリーディング部の学生(中央)とめいすいくん(右)が3カ所を巡り、投票率を上げるため、若者の選挙参加を呼び掛けた。めいすいくんは「投票しよう、投票しよう」と声を張り上げ、若者の投票率を上げるため、若者の選挙参加を呼び掛けた。

参加した若者の選挙啓発グループ「CEPT」の山下知子さん(21)県立大4年1号は

「若い人にもぜひ投票してもらいたい」と話した。

【橋本 啓】

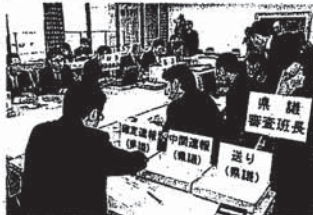


統一地方選への投票を呼び掛ける県立大チアリーディング部の学生(中央)とめいすいくん(右)
—福井市大和田町のフェアモール福井で2日

4月9日 福井新聞

投票速報へ
作業手順確認
県選管がリハール
10日の知事選、県議選
の投票率を前に、県選管

は8日、県庁で投票速報のリハールを行った。17市町の開票所から送られるファクスの受信や集計など作業手順をチェックし本番に備え



集計速報会場となる県庁6階の会議室にはファクスや集計用パソコンなどが準備され、県選管の上田広輝書記長が「開票情報を速やかに県民に提供するため、事務確認を万全にしてほしい」と訓示。投票速報と同じ職員31人が配置していた。

各開票所から開票結果が届いてから速報発表までは20分間隔で発表する。県のホームページでも発表の10分後に掲載する。

の目安としている作業時間は15分。美浜町を皮切りに続々とファクスが送られてくると、職員たちは検算、データ入力、集計、報道発表までの手順を班ごとにきびきとこなしていた。

4月7日 産経新聞

選挙戦も終盤 選管、啓発に力



統一地方選の知事選・県議選の選挙戦は終盤を迎えるが、県や市町の選挙管理委員会は、有権者に投票を呼びかける選挙啓発に力を入れている。今回は東日本大震災に配慮して選挙カーのスピーカーの音量を下げたり、名前の連呼などを自粛する候補者が多く静かな選挙戦を展開、街頭での選挙ムードは今ひとつだが、期日前投票の状況では前回を上回っている。当日の投票率は…。

投票率は、前回(平成19年)の知事選が59・83%と過去2番目に低く、県議選が前回64・42%と過去最低となっており、近年、低下傾向が続いている。

投票率は、前回(平成19年)の知事選が59・83%と過去2番目に低く、県議選が前回64・42%と過去最低となっており、近年、低下傾向が続いている。

投票を呼びかけるメッセージなどが掲載されたレシート





投票所に運び込まれた投票箱。福井市の清明公民館で

各地で設営作業

'11 統一 地方選

統一地方選の知事選と県議選は10日投票、即日開票される。投票は県内414会場、午前7時から午後8時まで（61投票所は最大2時間繰り上げ）。開票は午後9時から順次進められる。投票を前に9日、県内各地で投票所の設営作業が進められた。

福井市第12投票所の清明公民館（同市下荒井町）では、市職員らが机や椅子を配置し、記載台の組み立てなどの準備を進めた。同投票所は有権者約5700人を抱えており、投票所責任者の中川英男さん（57）は「誤りなく、公正な選挙ができるような環境を整えたい」と話していた。

◆期日前投票者数、前回知事選上回る
県選挙管理委員会によると、知事選の期日前投票者数は8日現在で4万3897人で、前回知事選（07年）の同時期より1万2633人多かった。県議選で無投票当選となった選挙区が前回の7から3に減ったことなどが影響しているとみられ、県選管は「最終的な投票率も上がってほしい」としている。

【高橋隆輔】

4月10日 読売新聞

生活にかかわること認識し大切な一票を
県選管委員長
統一地方選前半戦・知事選、県議選の投票日にあたり、奥井隆・県選管委員長は次の談話を発表した。
「今回の統一地方選は、東日本大震災で被災した自治体の選挙期日が延長されるという異例の状況の中で行われる。地方選挙は身近な政治に対して住民が意見を表明する最大の機会。県が直面する諸課題の解決、県政のあり方を方向付ける上でも意義がある。有権者には、今後4年間の県政を託す知事と県議の両選挙が、生活に直接大きくかわることを認識し、大切な一票を投じてほしい」

4月11日 中日新聞

知事選 投票率は58.05%

前回比 1.78%減
過去2番目の低さ

知事選は前回に比べて1.78%減少し、58.05%と過去二番目に低い投票率となった。無所属現職の西川一誠もあつたが、東日本大震災による福島第一原発の事故を受け、原子力政策が大きな争点と幅に低下するとの見方しとどめる要因となつたとみられる。

前回は県議選十五選

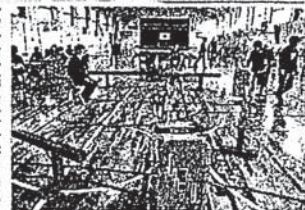
混雑なく粛々と

県内最大規模の
福井・第15投票所

有権者が一万人を超える県内最大規模の福井市の第15投票所（同市社南小学校）では、期日前投票による

分散傾向が強まっていることなどもあり、大きな混雑もなく、住民たちが粛々と投票を済ませていった。写真。関係者によると、住所ごとに四列設けられた名簿対照係では、順番待ちの列もみられたが、全体的には「昨年第一原発の事故があった参院選と比べても訪れただけに「最も関心のある人は少ない印象」。

あるのはやはり原発問題」と話していた。同市西谷一の男性（モ）は、東京電力福島（モ）は、東京電力福島



選挙区のうち、七選挙区が無投票だったのに対し、今回は選挙区再編後の十二選挙区のうち無投票は三選挙区にとどまった。
越前市は前回の県議選無投票時が38.24%で、「ダブル選挙」となった今回は前回に比べて20%以上アップ。知事選への関心の薄さを県議選が補った面もあった。

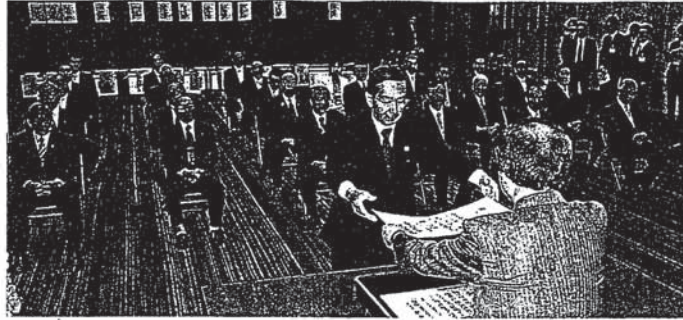
県議選の投票率は知事選を上回ったものの、過去最低だった前回をさらに4.06%下回り、60.36%と過去最低を更新。震災を受けた自粛ムードが、全体的に選挙戦の盛り上がりや欠く要素にもなった。（桂知之）

期日前投票は6万4878人

県選管は10日、知事選の期日前投票の集計結果を発表した。投票者数は六万四千八百七十八人で、前回二〇〇七年の知事選より一万八千八百十人増えた。三月三十一日現在の選挙人名簿登録者数に對する割合は9.92%。市町村では、福井市が二万八千四百五十五人で最多。ほかに坂井市、七千五百六十一人、敦賀市四千九百十八人、越前市五千四百四十六

人、勝山市四千二百十三人などだった。県選管の担当者は「期日前投票の制度が広く浸透したことに加え、無投票の県議選挙区が前回より減ったから増えたのでは」と分析している。

県選管の奥井委員長(手前)から当選証書を受け取る西川知事=13日、県庁



西川知事に当選証書

県選管 女性新人ら37県議へも

10日投開票された知事選と県議選の当選証書付与式は13日、県庁で行われた。3選した西川知事と県議選当選者は引き締まった表情で証書を手にし、県政を担う決意を新たにしていた。

県議の当選者は37人のうち、本人28人、代理人9人が出席。式の前には互いに握手を交わし、選挙戦の健闘をたたえ合うベテラン議員の姿も見られた。

県選管の奥井隆委員長は一人ずつ当選証書を手渡し「震災直後で従来と異なる選挙戦だったと思う。県民が一票に託した

期待をかみしめ、活躍されることを期待する」と祝辞を述べた。式後、西川知事は「3回目(の当選証書)だが気持ちを新たにし、県会の皆さんと県民の安全安心を守るための努力をしていきたい」と抱負を語った。

県会で女性として8年ぶりに議席を得た細川かをり氏(越前市・今立郡・南条郡選挙区)は「独り善がりではなく女性の代弁者となるために多くの声を集めていきたい」、西畑知佐氏(坂井市)は「女性の目線ですっかり仕事をしていきたい」とそれぞれ意気込みを話した。

西川知事の3期目任期は23日から。新県議の任期は30日からで、5月2日に初登庁して会派構成を決める見通し。6月定例会までには臨時議会を開き、正副議長、各委員

会構成を決める。